

岐阜農林事務所の普及活動状況

令和元年7月25日現在

今月の重点活動

■スマート農業 県議会農林委員会がスマート農業を視察

7月1日、県議会農林委員会が、自動運転トラクターなどを導入し国のスマート農業加速化実証プロジェクトに取り組む瑞穂市の（農）巣南営農組合を視察した。

当日は、営農組合からプロジェクトの概要やその目的について説明ののち、自動運転トラクター実演や直進アシスト田植機・防除用ドローンの紹介がなされた。

農林委員からは、活発な質問が出されスマート農業への関心の高さがうかがわれた。

農業普及課では、関心が高いプロジェクトであることから関係機関と連携してデータ分析等を行い、成果を内外にPRしてゆく。
(地域支援第三係・松本政行)



【自動運転トラクター実演】

新たなブランドづくり

■ニンジン 冬にんじん栽培講習会

農業普及課では、各務原市にんじんを対象として「新たなブランド創出支援事業」において、「にんじん共同選果施設を核にした産地拡大」の課題に取り組んでいる。

7月19日には、JAぎふ鶴沼支店にて、冬にんじんの栽培講習会が開催され、農業普及課からは、安定した出荷・品質の維持に向け、これからの栽培管理や病虫害防除等について説明し、対策の徹底を図った。

今後もJAと連携し冬ニンジンの安定出荷に向け指導を行う。

(地域支援第二係・水川 誠)

多様な担い手づくり

■イチゴ 就農1～3年目の生産者交流会等の開催

7月11日、JAぎふ合渡支店において、イチゴ就農1～3年目の生産者を対象とした交流会が開催された。今回、生産者11名が集まり、前年作での課題、本年作での取り組み、定植までの作業計画について各自が発表し、それに対して議論や検討をするという形式で会を進行した。生産者同士でも活発な議論となり、予定時刻を1時間超過して交流会は終了した。

また、7月8日には、岐阜市いちご部会青年部による現地栽培研修会も開催されるなど地域では毎年、全農岐阜いちご研修所の修了生を中心に数名の新規就農があり、若手を中心に活動が活発化している。

農業普及課では、経験年数が近い者同士での気軽な意見交換を通して若手の技術向上を図るなどの支援してゆく。
(園芸産地支援第一係・菊井 裕人、第二係・三和 浩一)



【現地研修会の様子】

■女性農業者 女性農業経営アドバイザー相続税勉強会を開催

7月16日、OKBふれあい会館にて、アドバイザーグループの「GLAMAいきいきネットワーク岐阜ブロック」が、農業経営改善スペシャリスト派遣事業を活用し税理士を講師に招いて、相続税についての勉強会を開催した。

当日は、14名の会員が出席し、相続税や生前贈与の仕組みと、農業経営における相続の留意点について学習した。研修では、事例を基にした対話方式で行われ、参加者からの活発な質疑もあって、熱心な勉強会となった。

グループでは、今後、会員間の相互訪問や県外視察も計画しており、農業普及課ではこれ



【税理士を迎え熱心な勉強会】

らの活動を支援していく。

(園芸産地支援第一係・福田 富幸)

■えだまめ、アスパラガス JAぎふ野菜専門塾を開催

農業普及課とJAぎふでは連携して、新規栽培者を対象とした野菜専門塾を企画している。

7月3日には第2回目のえだまめの講座が、塾生4名を対象として、JAぎふ曾我屋枝豆選果場において開催され、セル苗の移植や防虫ネット設置方法などについて実習を行った。また、7月5日には、第1回アスパラ塾も開催され、塾生8名を対象にアスパラガスの基本的な栽培を学んだ。

農業普及課では、今後もJAぎふと連携し、えだまめ、アスパラガス等の新たな生産者の育成に向け、支援をしていく。

(園芸産地支援第一係・高井 啓、栗山 万里奈)



【えだまめ塾での移植】

売れるブランドづくり

■イチゴ 岐阜いちご生産者研究大会が開催

7月18日、関市わかくさプラザ多目的ホールにおいて、岐阜いちご生産者研究大会が開催された。大会では、第44回岐阜県いちご共進会表彰式が執り行われ、岐阜地域からは農林水産大臣賞を始め、9名の生産者が特別優秀賞を受賞した。

特別優秀賞は、県内のいちご生産者のうち、ほ場管理、単収、出荷品質などが非常に優れている上位10名が表彰されるもので、今回、育苗ハウスが昨年6月の突風で全壊し、苦労ながらも出荷に至った生産者も選出され、その努力が報われた。

これからも当地域から表彰を受ける農家が多数選出されるよう関係機関と連携して支援していく。(園芸産地支援第一係・菊井 裕人、第二係・三和 浩一)



【特別優秀賞の10名】

■秋冬ブロッコリー 育苗研修会の開催

7月11日にJAぎふ黒野農産物流通センターにおいて、JA苗の管理委託農家を対象としたブロッコリー育苗研修会が開催された。苗の徒長に対する対応策が求められていることから、今年は生産者ごとに管理上の注意点を把握するための試作を行っており、当日は生産者が持参した苗の生育状況と農業普及課で調査した管理状況と照らし合わせて、管理方法の見直しを行った。

今後も関係機関と連携して、健苗の確保に向けた支援を継続していく。



【試作の苗を評価】

(地域支援第一係・鈴木郁子)

住みよい農村づくり

■えだまめ 第11回岐阜えだまめ収穫体験

7月13日、岐阜市曾我屋えだまめ選果場及び隣接ほ場において第11回岐阜えだまめ収穫体験が開催された。

梅雨時期であるが天候にも恵まれ、早朝から多くの来場者が訪れ、岐阜えだまめの収穫を楽しみ、地元特産品の良いPRとなった。

農業普及課は、収穫体験の円滑な開催に向け、関係機関と連携し、運営全般に係る支援を行った。

(園芸産地支援第一係・高井 啓)



【収穫体験の様子】